

成田ロータリークラブ杯争奪サッカー大会

## 大人も子どもも ボールは友達

日ごろ、指導を受ける子どもたちとそのコーチなどが互いの試合を応援することで、信頼感と連帯感を高めサッカーの楽しさを味わおうと「成田ロータリークラブ杯争奪サッカー大会」が3月23日、中台陸上競技場・球技場で行われました。参加者は主に38歳以上を対象とする「四十雀リーグ」と「少年大会」に分かれ熱戦を展開。親子で参加する選手も見受けられるなど、互いに声援が飛び交い盛り上がりを見せていました。



「いけーっ」  
強烈なシュートが  
ネットを揺らすか



ホテルの総料理長による料理の実演も

美味しいフォーラム・印旛の畜産

## 地元の味を楽しみながら

地元の畜産物や農産物を使った料理を味わい、食料生産に対する理解を深めてもらおうと3月14日、「美味しいフォーラム・印旛の畜産」が成田ビューホテルで開催されました。地元の農産物などが展示された会場では、牛乳や卵などを扱う畜産業者がそれぞれの業務内容や現在の取り組みについて説明。その後の交流会で、参加者たちは地元の生産者と歓談し、お薦めの調理方法や食料自給率の向上についてなどさまざまな話題に花を咲かせていました。

シルバーいきいきフェスティバル

## いつまでも若々しく

老人福祉センターを拠点に活動しているサークルが日ごろの活動の成果を披露する「シルバーいきいきフェスティバル」が、3月1日に保健福祉館で開催されました。年齢を感じさせない見事な踊りや歌声に、観客席からは拍手喝采。発表のほかにも、思わず足を止めてしまうたくさんの作品展示や和やかな雰囲気のカフェが行われ、この日1日、溢れるシルバーパワーで会場は大いににぎわいました。



元気いっぱいの踊りを披露

魅力的な作品の数々

## 世界の文化を身近に

世界最大規模の学生組織アイセックに加盟する学生と成田小学校5年生との「異文化交流イベント」が3月21日、同校体育館で行われました。子どもたちはグループごとに各国のブース(世界文化村)を回り、国々の話を聞いたり日本の文化を紹介。「いろいろな国の人から文化や社会について話を聞くことができ、その国に行ってみたいと思いました。英語で日本の紹介もできました」と顔をほころばせていました。



インドネシアのブースで説明を聞く子どもたち



遺物展示コーナーを見る地区住民



南羽鳥区民会館

## 館内には 遺物展示コーナーも

南羽鳥区が建設を進めていた区民会館が完成し3月9日、竣工式典が行われました。南羽鳥は国指定重要文化財の人頭型土製品や市指定のムササビ埴輪が出土するなど、古くからの遺跡が数多くある地区として知られており、区民会館用地も南羽鳥花輪内遺跡として、建設に先立って発掘調査が行われました。館内には、先人たちの残した遺産に触れてもらうことを目的に、発掘調査で出土した縄文時代の土器や石器を展示するコーナーも設けられています。今後は、地元以外の人たちからの見学希望にも応えていくとのことですので、興味のある人は生涯学習課(☎20-1534)を通じてお問い合わせを。

## 鯉の生命力にあやかり

「わたしが若いころには、みんなでござを敷いてつまみを持ち寄り、お酒を酌み交わしながらにぎやかに一日過ごしたもんだよ」と懐かしそうに語るのは藤崎正雄さん。3月15日、台方の五社神社で行われた例祭の参加者で今年で86歳になります。毎年3月の第3土曜日に行われているこの例祭では、印旛沼で捕れた生きた鯉が奉納されます。これは生命力の強い鯉にあやかり、区民が1年間元気に暮らせることを願って奉納されるようになったと伝えられています。同神社は「世直し様」と地元の人から呼ばれ親しまれていて、今は木々に囲まれています。高台にあることから、かつては境内から眼下に広がる水田の様子ははるかかなたまで見渡せたそうです。



野菜や果物に加え鯉を奉納し、区民の健康を願う台方区の皆さん